

【実施区域・面積】

【生態系タイプ】維持タイプ

神奈川県川崎市、0.38ha

【実施区域の状況】

王禅寺処理センターは当地において昭和42年に設立され、敷地内には市内北部のごみ処理の基幹的役割を担う処理施設のほか、資源化処理施設や市民向けの環境学習施設を設置している。
また、市民に開放された遊歩道や緑地広場を整備し、資源化処理施設屋上では屋上緑化を行っている。
当敷地内に育つ希少植物を保護するため、施設開発時には地域に生育していた希少種保全のため敷地内に移植し、現在も生息している。また、実施区域には複数の希少種が確認されている。

【目標】

希少種の生育維持

【主な活動内容】

- ・希少種および緑地の維持管理活動として、定期的な草刈りを実施。これにより、他の植物の生育を阻害するアズマネザサ等の繁茂を防ぎ、希少種等が生育可能な林床環境を保つ。また隣接する遊歩道の安全のため、適宜枯れ枝落としを行う。
- ・職員及び委託事業者によって、定期的に希少種の状況を確認し、他の動植物の生息・生育状況を記録し、広く共有することで長期的かつ安定的な管理体制を構築している。また、得られた調査結果は地域の在来種を中心とした生息・生育する多様な動植物種や自然共生について学ぶための環境学習資材として使用する。

【モニタリング計画】

- 【モニタリング対象】・確認されている希少種
- 【モニタリング手法】・主導線を主体とする、踏査目視による概査
- 【実施時期及び頻度】・年1回希少種の生息状況確認、敷地内動植物調査を5年に1回実施

【実施体制】

- ・年1回の調査は職員等により実施
- ・5年に1度の動植物調査は委託により実施



【計画期間】

2026年3月～2031年3月